

四半期報告書

(第36期第3四半期)

自 平成25年10月1日

至 平成25年12月31日

アリアケジャパン株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 3
- (2) 新株予約権等の状況 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 3
- (4) ライツプランの内容 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 3
- (6) 大株主の状況 3
- (7) 議決権の状況 4

2 役員の状況 4

第4 経理の状況 5

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 8
 - 四半期連結損益計算書 8
 - 四半期連結包括利益計算書 9

2 その他 12

第二部 提出会社の保証会社等の情報 13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月7日
【四半期会計期間】	第36期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	アリアケジャパン株式会社
【英訳名】	ARIAKE JAPAN Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田川 智樹
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号
【電話番号】	03（3791）3301（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 松本 幸一
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号
【電話番号】	03（3791）3301（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 松本 幸一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） アリアケジャパン株式会社九州第2工場 （長崎県北松浦郡佐々町小浦免字小浦浜1572-21）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期 連結累計期間	第36期 第3四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	24,952,313	27,532,466	33,591,021
経常利益（千円）	4,583,314	6,030,063	6,408,836
四半期（当期）純利益（千円）	2,656,318	3,585,364	3,788,095
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	2,576,805	5,102,686	5,481,217
純資産額（千円）	43,646,344	50,214,328	46,550,353
総資産額（千円）	51,247,864	59,800,223	54,662,355
1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	83.46	112.65	119.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	84.66	83.33	84.60

回次	第35期 第3四半期 連結会計期間	第36期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額（円）	41.59	50.59

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 記載金額は、千円未満を切捨てによって表示しております。なお、1株当たり情報については小数点第3位を四捨五入によって表示しております。
4. 売上高は消費税等抜きで表示しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるAriake Europe N.V.は、平成25年11月28日（オランダ現地時間）付でHenningsen Nederland B.V.（本社所在地：オランダ ワールウェイク）の発行済全株式を取得する契約を締結いたしました。詳細は、第4【経理の状況】1【四半期連結財務諸表】〔注記事項〕（重要な後発事象）に記載のとおりであります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府日銀の積極的な金融緩和を背景として円安が進行するなど、企業収益に明るさも出て参りました。

このような環境下において、当社グループは「世界6極体制」を確立したグローバルエンタープライズとして、天然調味料における独自の技術力と営業力を駆使し、拡販に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期の連結売上高は27,532百万円（前年同期比2,580百万円増）となりました。

また、第3四半期の連結営業利益は、4,544百万円（前年同期比183百万円増）、連結経常利益は6,030百万円（前年同期比1,446百万円増）となり、四半期純利益は、3,585百万円（前年同期比929百万円増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当社グループの国内の研究開発活動は技術開発部で行なっており、主要研究活動はユーザーの要望に応じた各種調味料、スープ類の試作及びテクニカルサービスと、当社企画製品開発及び新素材の調味料の基礎研究であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は274百万円であります。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

食品業界におきましては、円安にともなう原材料価格の高騰、人手不足による人件費増大と言った逆風に直面しております。

しかしながら、当社グループは、日本国内にとどまらず、グローバルエンタープライズとして世界的な規模で企業活動を展開し、いかなる情勢にあっても収益を確保する体制を構築しております。

(5) 経営者の問題意識と今後の方針について

日本国内の食品業界は、少子高齢化という避けることのできない命題を抱え、今後の大きな発展は望めない状況です。

このような状況下において、当社グループは世界各地で増設した生産設備を背景とした全世界でのマーケティングを展開しております。

当第3四半期連結会計期間において、在ベルギー子会社 Ariake Europe N.V.を通じて、オランダのHenningsen Nederland B.V.を取得し、欧州地域における生産、及び販促体制を強化致しました。

今後とも諸施策を着実に実行して成果を上げ、収益の安定的な増大を実現して計画どおりの売上高・利益を達成する所存です。

(6) 株式会社の支配に関する基本方針について

当社は、平成18年5月18日に開催された取締役会において、特定株主グループの議決権割合を20%以上とすることを目的とする当社株式等の買付行為、または結果として特定株主グループの議決権割合が20%以上となる当社株式等の買付行為（いずれにしてもあらかじめ当社取締役会が同意したものを除きます。以下、このような買付行為を「大規模買付行為」といい、大規模買付行為を行う者を「大規模買付者」といいます。）に関する対応方針を決議しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	130,000,000
計	130,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	32,808,683	32,808,683	東京証券取引所 (市場第1部)	単元株式数100株
計	32,808,683	32,808,683	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	—	32,808,683	—	7,095,096	—	7,833,869

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 981,400	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 31,734,700	317,347	—
単元未満株式	普通株式 92,583	—	—
発行済株式総数	32,808,683	—	—
総株主の議決権	—	317,347	—

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株（議決権の数14個）含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
（自己保有株式） アリアケジャパン(株)	東京都渋谷区恵比寿南 三丁目2番17号	981,400	—	981,400	2.99
計	—	981,400	—	981,400	2.99

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,102,330	8,146,713
受取手形及び売掛金	※2 6,766,744	※2 8,261,452
有価証券	1,000,000	3,590,000
商品及び製品	2,432,717	2,689,036
仕掛品	677,707	744,221
原材料及び貯蔵品	1,568,228	1,565,567
繰延税金資産	215,645	211,015
その他	470,089	1,257,028
貸倒引当金	△1,425	△3,398
流動資産合計	21,232,038	26,461,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,577,196	21,544,322
減価償却累計額	△9,251,388	△9,988,101
建物及び構築物（純額）	11,325,807	11,556,221
機械装置及び運搬具	21,908,262	24,211,318
減価償却累計額	△16,676,929	△17,915,513
機械装置及び運搬具（純額）	5,231,333	6,295,805
土地	4,499,643	4,564,573
リース資産	44,156	56,194
減価償却累計額	△15,542	△22,997
リース資産（純額）	28,613	33,197
建設仮勘定	191,547	1,414,133
その他	835,870	879,036
減価償却累計額	△748,915	△790,935
その他（純額）	86,955	88,100
有形固定資産合計	21,363,900	23,952,031
無形固定資産	143,645	144,925
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 9,856,060	※1 7,188,879
長期貸付金	64,897	47,703
投資不動産（純額）	1,453,834	1,472,702
その他	548,170	532,536
貸倒引当金	△193	△193
投資その他の資産合計	11,922,770	9,241,628
固定資産合計	33,430,316	33,338,585
資産合計	54,662,355	59,800,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 2,851,630	※2 3,415,660
短期借入金	223,785	357,065
リース債務	9,032	11,138
未払法人税等	1,404,238	1,137,305
賞与引当金	179,443	70,361
役員賞与引当金	58,000	—
その他	1,341,858	2,260,183
流動負債合計	6,067,989	7,251,715
固定負債		
長期借入金	324,848	244,766
リース債務	21,012	23,718
繰延税金負債	412,717	699,844
退職給付引当金	612,951	637,161
役員退職慰労引当金	328,362	343,687
その他	344,121	385,001
固定負債合計	2,044,012	2,334,178
負債合計	8,112,001	9,585,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	33,333,121	35,486,242
自己株式	△2,059,636	△2,061,905
株主資本合計	46,202,450	48,353,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,161,420	1,434,063
為替換算調整勘定	△1,121,873	44,352
その他の包括利益累計額合計	39,546	1,478,416
少数株主持分	308,356	382,610
純資産合計	46,550,353	50,214,328
負債純資産合計	54,662,355	59,800,223

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	24,952,313	27,532,466
売上原価	※1 16,533,356	※1 18,718,461
売上総利益	8,418,956	8,814,004
販売費及び一般管理費	※1 4,057,741	※1 4,269,144
営業利益	4,361,215	4,544,860
営業外収益		
受取利息	102,370	85,461
受取配当金	73,616	106,521
受取家賃	21,469	21,672
為替差益	—	491,348
デリバティブ評価益	156,387	718,106
その他	120,753	93,835
営業外収益合計	474,597	1,516,946
営業外費用		
支払利息	27,605	10,528
為替差損	188,479	—
貸貸収入原価	9,907	15,676
その他	26,506	5,537
営業外費用合計	252,498	31,742
経常利益	4,583,314	6,030,063
特別損失		
固定資産除却損	17,788	—
店舗閉鎖損失	4,341	—
特別損失合計	22,130	—
税金等調整前四半期純利益	4,561,184	6,030,063
法人税等	1,884,842	2,412,899
少数株主損益調整前四半期純利益	2,676,341	3,617,164
少数株主利益	20,023	31,800
四半期純利益	2,656,318	3,585,364

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,676,341	3,617,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,910	272,643
為替換算調整勘定	△146,447	1,212,878
その他の包括利益合計	△99,536	1,485,522
四半期包括利益	2,576,805	5,102,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,556,312	5,024,233
少数株主に係る四半期包括利益	20,492	78,452

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社グループの有形固定資産の使用実態を見直した結果、在外連結子会社の一部は、第2四半期連結会計期間より一部の機械装置及び運搬具の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ121,009千円増加しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資有価証券(株式)	8,196千円	8,196千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	75,820千円	92,360千円
支払手形	97,858千円	71,099千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
一般管理費	245,496千円	260,640千円
当期製造費用	9,562千円	13,382千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,339,909千円	1,404,679千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	636,565	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	636,563	20.00	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	795,699	25.00	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金
平成25年11月12日 取締役会	普通株式	636,544	20.00	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、天然調味料事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	83円46銭	112円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,656,318	3,585,364
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,656,318	3,585,364
普通株式の期中平均株式数(千株)	31,828	31,827

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

連結子会社であるAriake Europe N.V.は、平成25年11月28日（オランダ現地時間）付でHenningsen Nederland B.V.（本社所在地：オランダ ワールウェイク）の発行済全株式を取得する契約を締結し、履行しました。これにより、Henningsen Nederland B.V.はAriake Europe N.V.の子会社となりました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Henningsen Nederland B.V.
事業の内容 乾燥肉等の食品加工

② 企業結合を行った主な理由

Henningsen Nederland B.V.は主として乾燥肉を大手食品会社や香料メーカーに販売する企業であります。Ariake Europe N.V.とは生産している製品は異なる一方で、販売市場は共通するものがあります。今後Ariake Europe N.V.はハード、ソフトの先端的生産技術と、Henningsen Nederland B.V.の欧州での販売実績及びその市場情報とを重ね合わせ、欧州市場のニーズに応える製品を供給できる体制を強化します。

③ 企業結合日

平成25年10月1日

なお、Ariake Europe N.V.の決算日は12月31日であり、企業結合日以後の被取得企業の業績は第4四半期連結会計期間から計上されることとなります。

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

Henningsen Nederland B.V.

⑥ 取得した議決権比率

100%

(2) 被取得企業の取得株式数及び取得価額

取得株式数 359,568株

取得価額 17百万ユーロ

(注) なお、取得価額の一部は未確定であり、最終数値と異なる場合があります。

2 【その他】

平成25年11月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・636,544千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・20円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月6日

アリアケジャパン株式会社

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小松 亮一

指定社員
業務執行社員 公認会計士 陶江 徹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアリアケジャパン株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アリアケジャパン株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、当社の連結子会社であるAriake Europe N.V.は平成25年11月28日付でHenningsen Nederland B.V.の発行済全株式を取得する契約を締結し、履行している。これにより、Henningsen Nederland B.V.はAriake Europe N.V.の子会社となった。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。